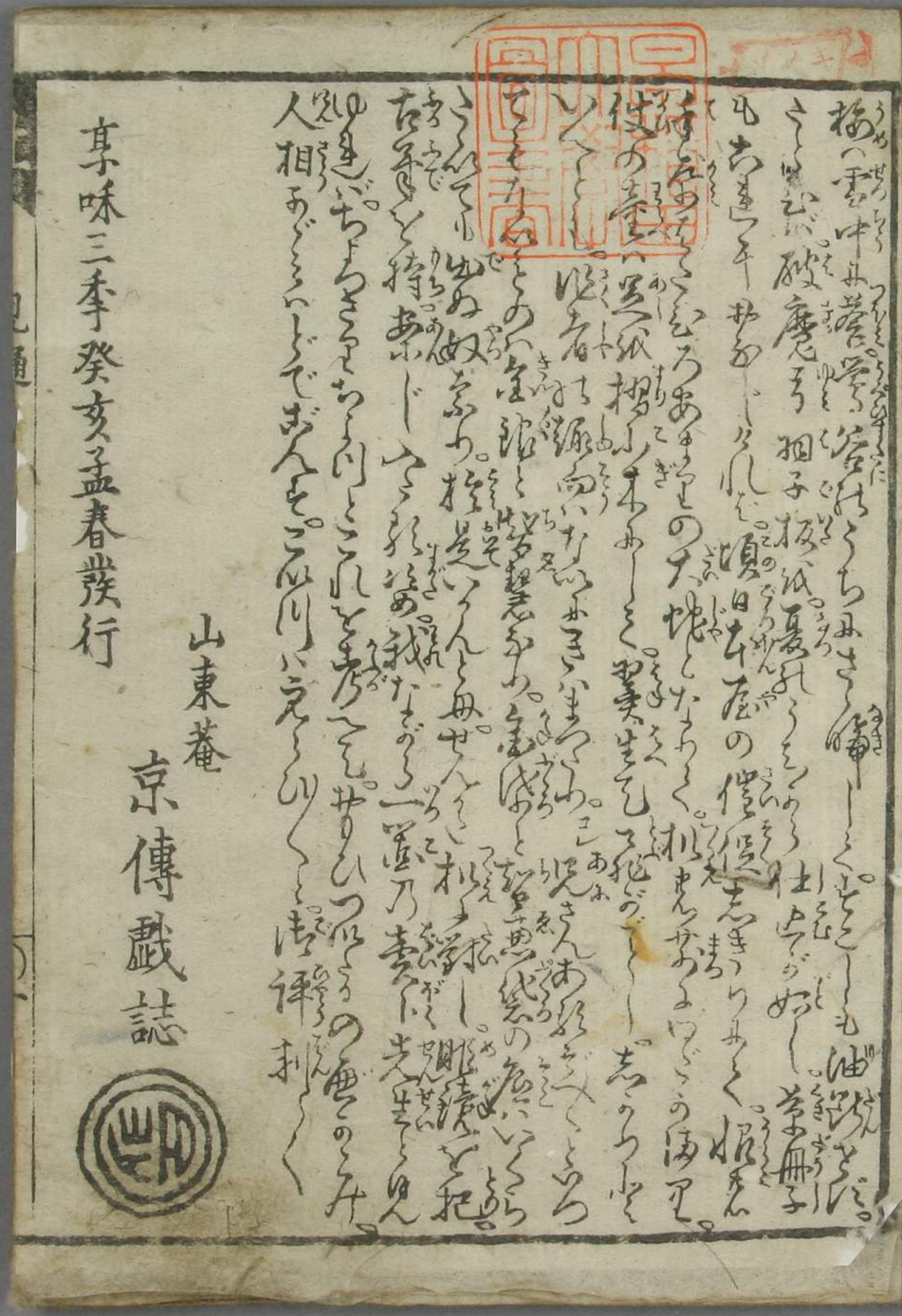
黄門記事

13
2056
25

特へ13
2056
25

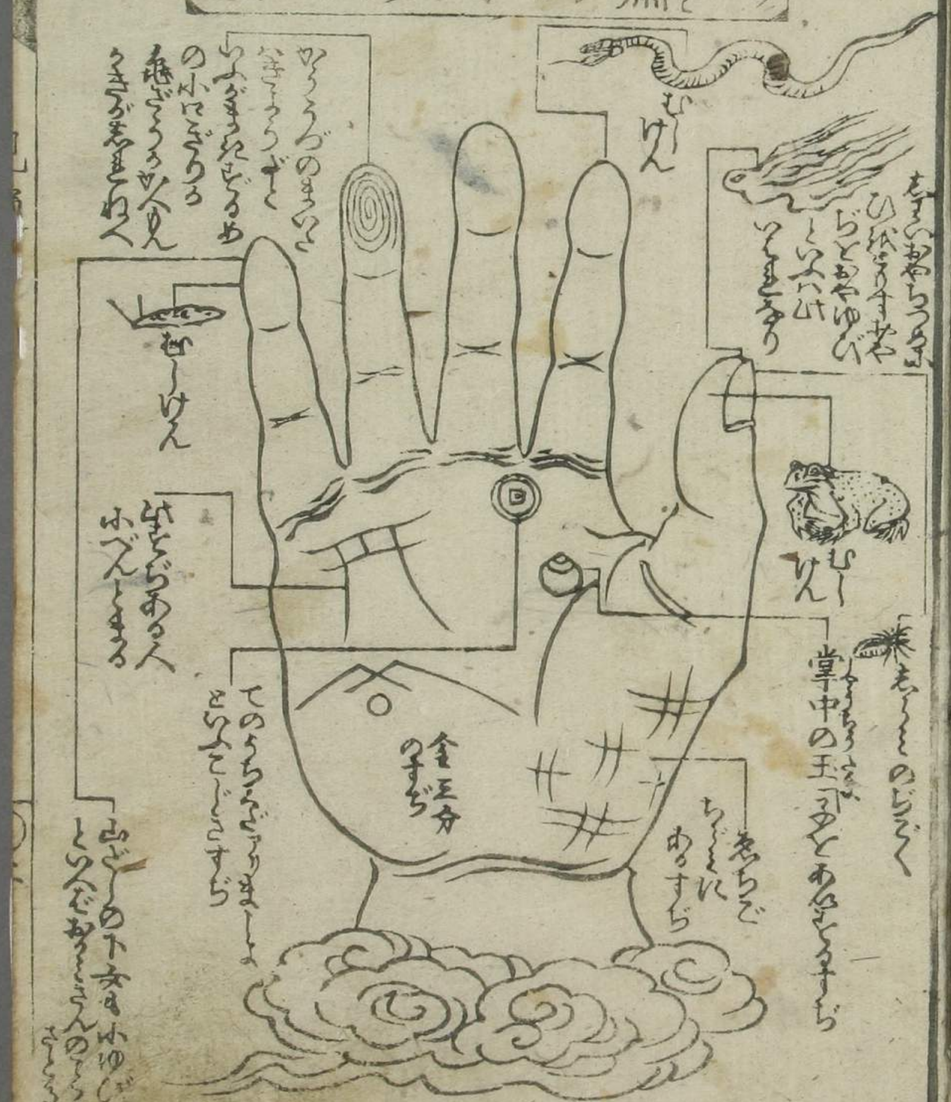


其味三季癸亥孟春發行

山東菴 京傳戯誌

中能而遊相麦

五臓云手頭の之図



てむ相
諸國書狀挿
江戸滝口

ぶゝん相撲

けんくらをとら

いぢがまる相

こてうてんとぢ

高賣ふうと相
五

京傳戯作

人相手紋 裡家筮見通坐敷帳

享和癸亥發行
翠橋上通油街
仙鶴堂梓行

うふぎのまもり

たとへそのこゝろあるそうかぎのゆゑ
なるべしつひにふびんまのりの
さまをてきるれなぐれよ一生紙
んをくこゝろにと八の目うかぎの
目のまへにあるりさく名利のあさ
をむさぼりあく純んのつるまむりこ
かくられがうふんげさろこ尾と
ひくあのふるぎのまもる紙
れぐべーじてんりく

「ろんでもこあわち
しふおたくひぞ
ことくどてみさ
ゆうもございます
しやうゆ

ひのやようこあやう
ねづひのかやちさ紙
七ーわうまでハ
むこいかんぎう

「ふりり山
ゝ十ごう
までの
ふぎふ
てやで
うせろ

ひとさう
ふうみつけ
かこふまかどね
ふゆゆをいん
ぞこうかーや

ひとさまのむすきこあり
ひろきこゝろ紙ぐうかぐうのこと
なりてみまはいけぎのるもこさすう
いをくくるのこゝろをてかうをまう
まくてをとすこーえをくおやま
きやうぐんのあんとさうれて
ひんかう
竹のふーふ
さんれ紙ぐ
のひぐちこあり
ま
すぎゝそゝ
名のゝちこあぎゝてそゝれさんーよのゝうきち紙
るることれゝんのかちをうあーしさるゆゑるうり

て
ぬやのふいのちぶゝちこ
ゆこ紙こぶ
不孝のちぶゝゆこ紙こぶ竹の

やさもち伝やさ桐

由来婚島義春義
不識春花義婚島

せとぢ

金がある相

ひんぼくのすじら

此海道いぶり綱

ごぼうんさらい

ぞくのぞくさま　桐

きせるのとら

志ま彫
前
大蒲焼

京傳戲作

人相手紋 裡家筭見通座敷下

享和癸亥發行
翠橋上通油街
仙鶴堂梓行

手すぢ

はじめすぢにいろ〳〵あり
神の道とらいふ正じきの道より入る
仏の道をならいだいひの道より入れ
儒の道をならい大学の道より入る
此三つのすぢいづれもまよいをちがへる
かんなかりて人まよふまがりくねりある
わかまなをならいにてもありよくの
さちもならいの新のちがひいづこに
てそろんでもまよいさきねあくた
ありていのもちをならいあてさき
手か道からたがひくあつく
まよひ道へしまつてもひくい
もいちのまちとい云はあくた
のことまつてしまへし

くるし相
子持ちとら

氣がよさ相

こまのつくる糸ぐるま

ちゑぶくろ

往言のことぢ

人間八氣の之圖

寒

辛

金

損

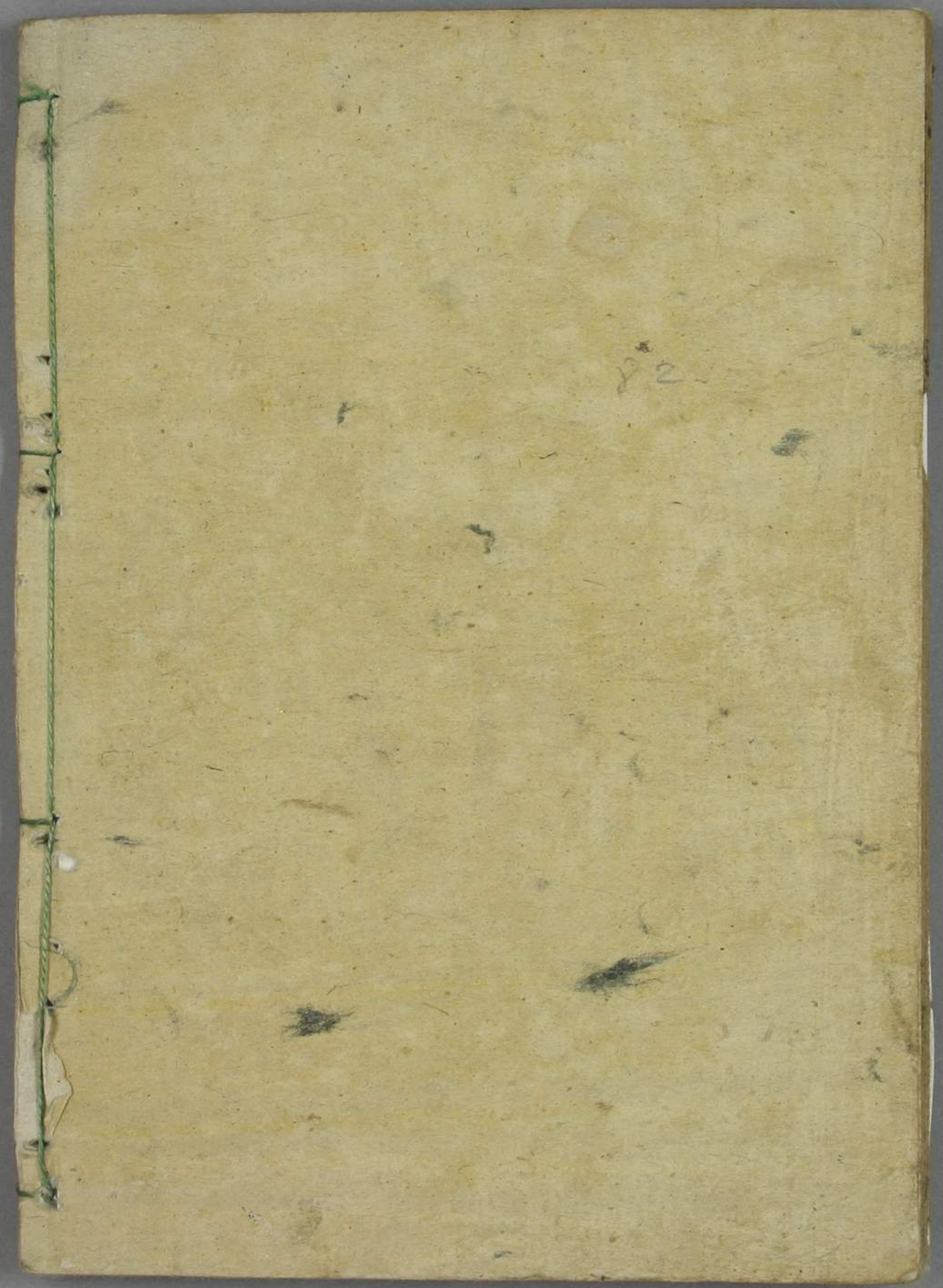
利

駄

狐

拳

醒世老人 京傳戯作

讀書丸 一包十五粒入 代壹匁五分ヲ

賣弘所 江戸 京傳店